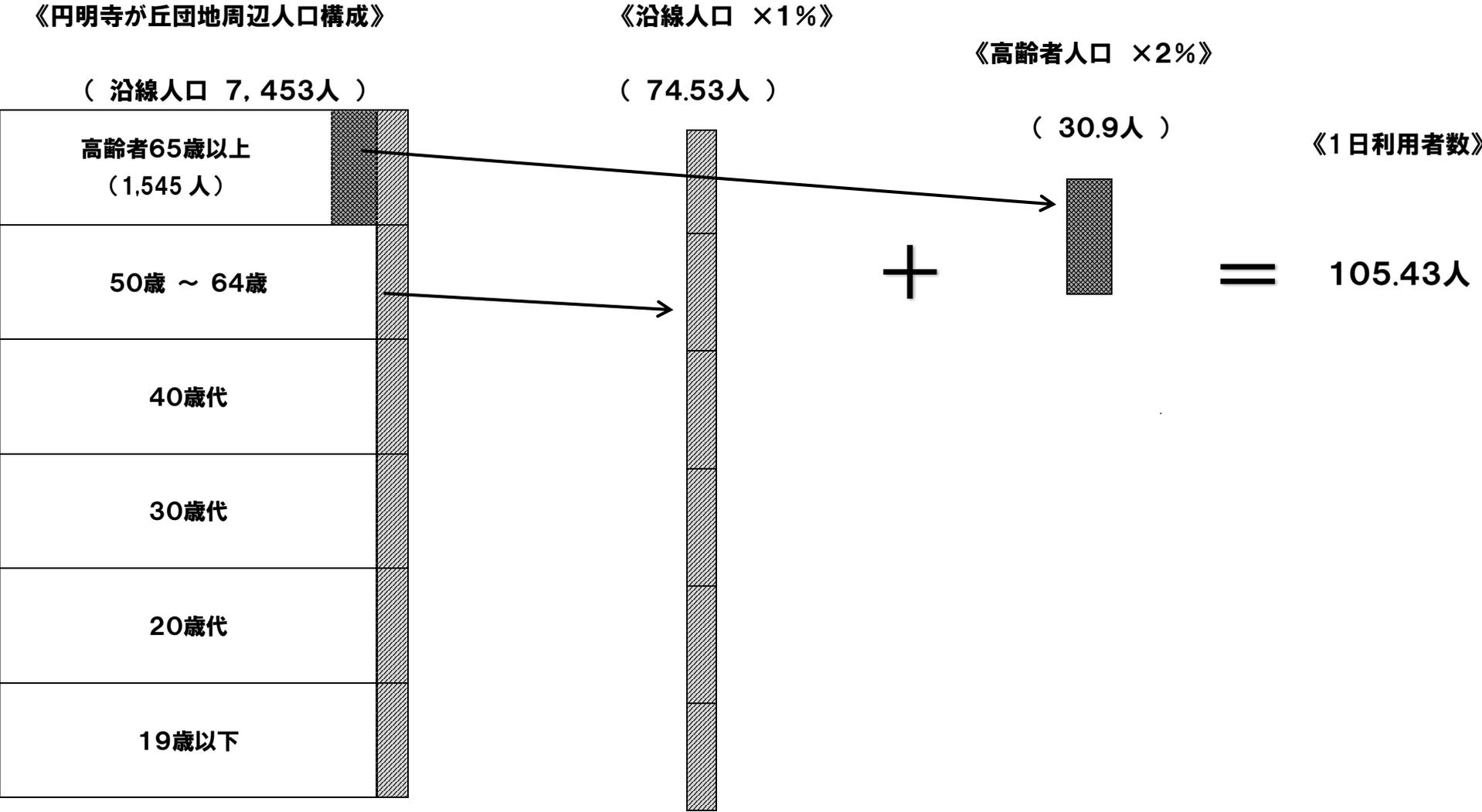


【円明寺が丘団地周辺地域の沿線人口・1日の利用者数（イメージ図）】



【ノンステップバス車両(イメージ図)】

(1) 長岡京市「はっぴいバス」



(2) 八幡市「コミュニティバスやわた」



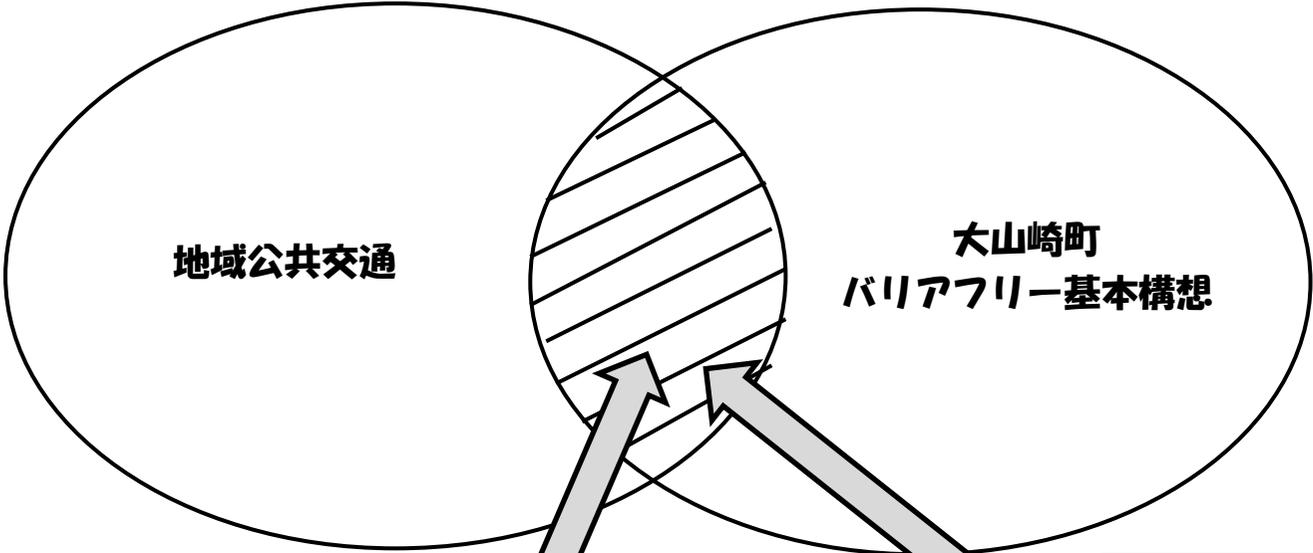
(3) 木津川市「きのつバス」



(4) 群馬県桐生市「おりひめバス」



【地域公共交通と大山崎町バリアフリー基本構想との補い合い】



《公共施設間のアクセス性の補い合い》
(大山崎町バリアフリー基本構想)※別紙重点整備地区図参照

- ・役場前からJR山崎駅前の西国街道の歩道の改修、改築
- ・役場前から円明寺が丘自治会館前までの道路を、周辺の交通状況の変化を踏まえ検討

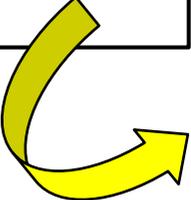
(地域公共交通)

- ・公共交通の利用見込みの高い地域と、目的地として利用率の高い公共施設を繋ぐ公共交通の導入

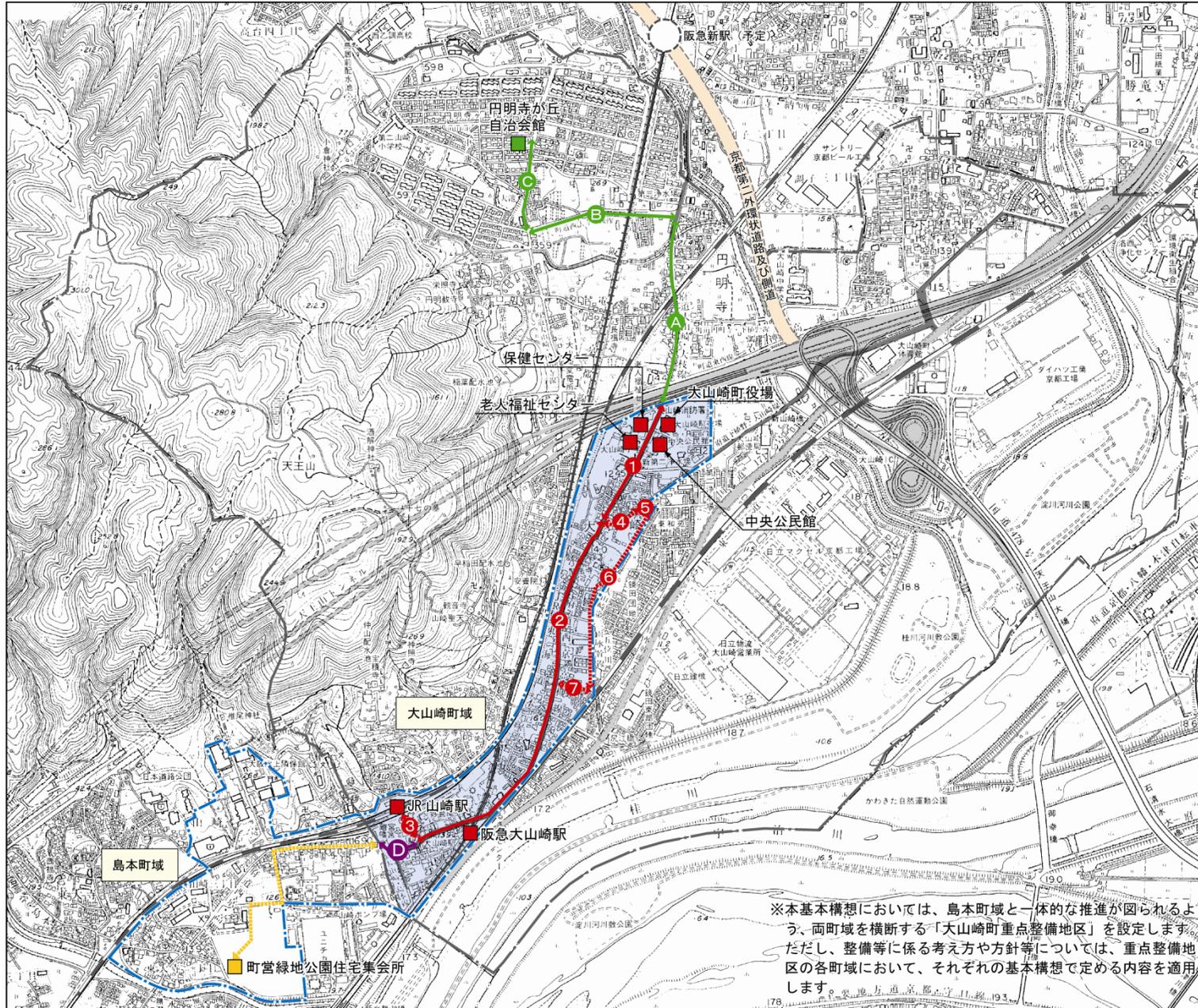
《大山崎町バリアフリー基本構想の中で定めている方針》

- ・車いす固定スペースやスロープを設置した低床バス車両の導入推進
- ・通行に支障のあるバス停標識の移設、埋め込み式の検討
- ・バス停の時刻表の文字の拡大等による、見やすい表示への改善
- ・バス停への低床バス運行時間の表示又はインターネットによる情報提供

「移動しやすさ」の確保



【大山崎町重点整備地区図】 ※大山崎町バリアフリー基本構想より抜粋

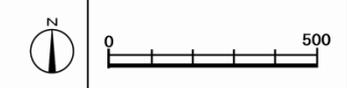


凡 例

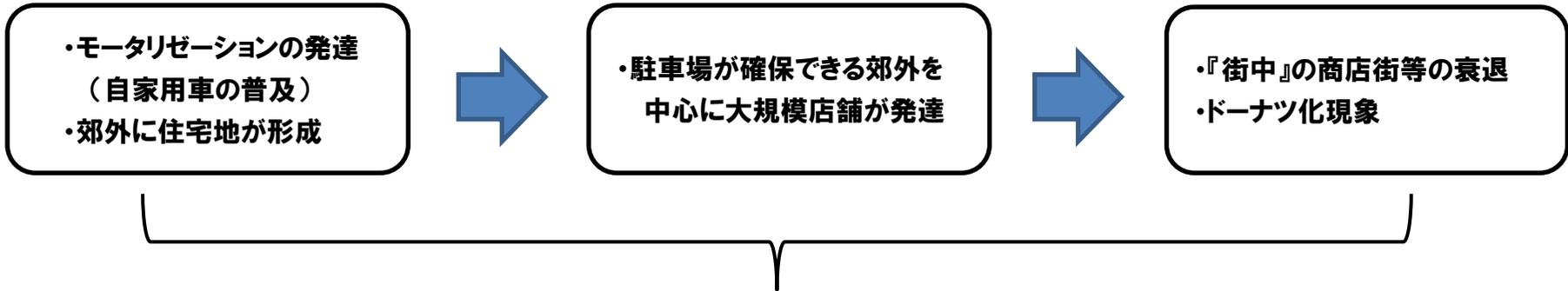
- 重点整備地区 (約 65ha)
■ 大山崎町域 (約 35ha)
■ 島本町域 (約 30ha)
- 生活関連施設
- 生活関連経路
- 準生活関連経路
- 周辺の道路整備と整合を図り整備を検討する施設
- 周辺の交通状況の変化をみた上で、再検討する路線
- 島本町バリアフリー基本構想の状況に合わせ整備を図る路線
- 島本町バリアフリー基本構想で定められた生活関連施設
- 島本町バリアフリー基本構想で定められた準生活関連経路
- 大山崎町バリアフリー基本構想の適用範囲

大山崎町重点整備地区図

※本基本構想においては、島本町域と一体的な推進が図られるよう、両町域を横断する「大山崎町重点整備地区」を設定します。ただし、整備に係る考え方や方針等については、重点整備地区の各町域において、それぞれの基本構想で定める内容を適用します。

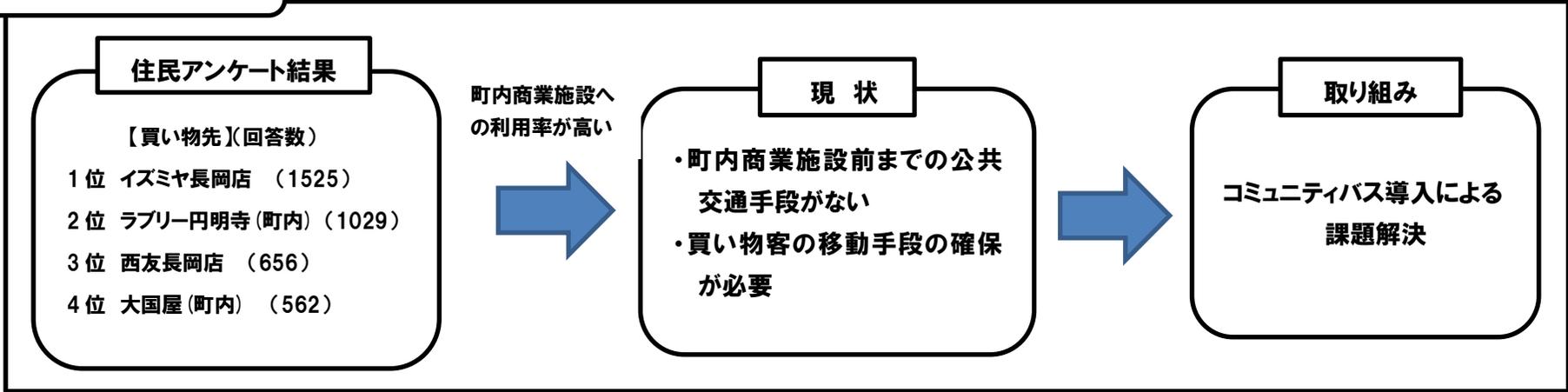


【モータリゼーションの発達による商店街の衰退化について】

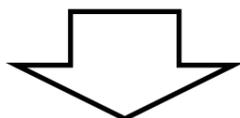
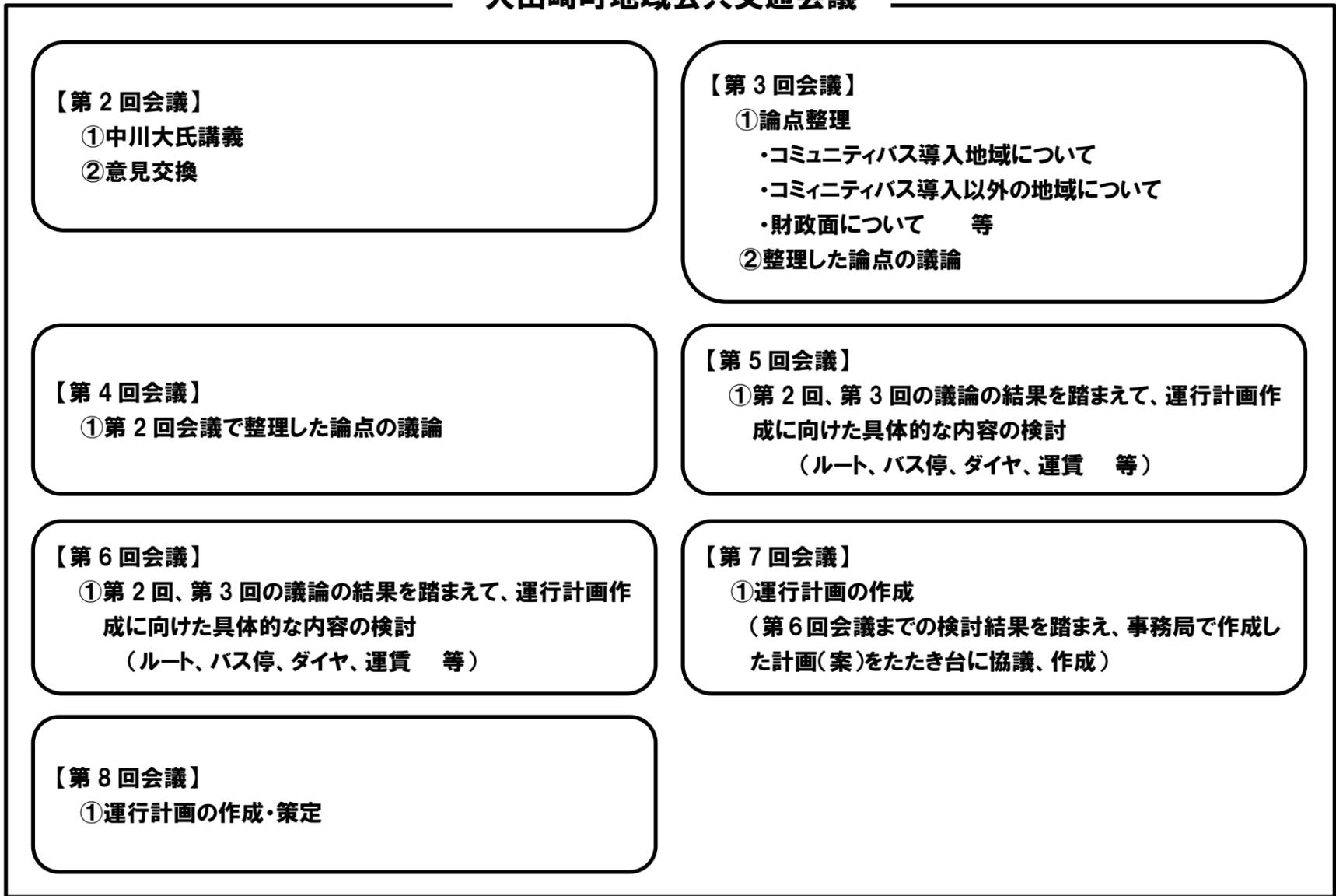


『まち』の賑わいを生み出すため、自家用車に依存しない地域公共交通施策が必要

大山崎町の場合は？

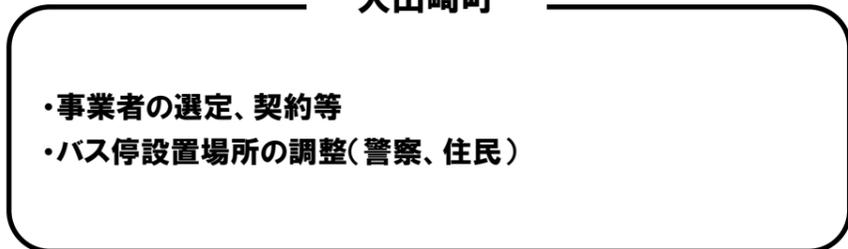


大山崎町地域公共交通会議

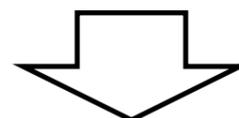
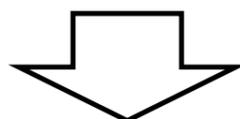
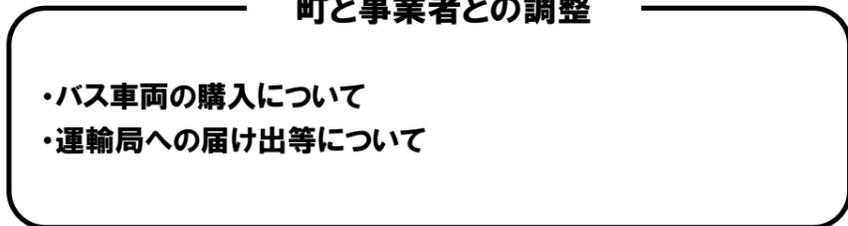


運行計画を受けて町
で実施

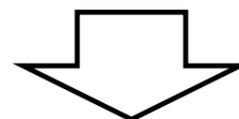
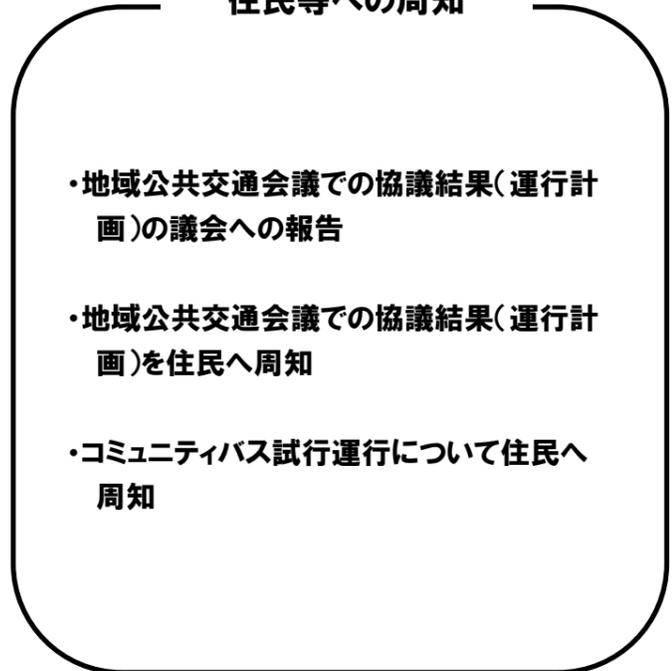
大山崎町



町と事業者との調整



住民等への周知



コミュニティバス試行運行